施工説明書

TOTO

TN901B型

床給水止水栓（樹脂配管用）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください。）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

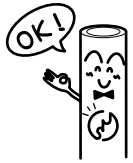
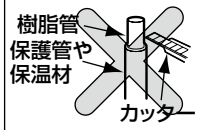
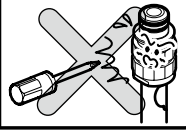
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

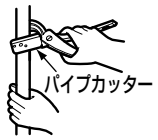
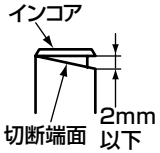
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注　意

禁　止	**JIS品以外の樹脂管は取り付けない** 水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	保護管や保温材をカットする際は、カッターなどで樹脂管に傷を入れない、また、カッターなど樹脂管に傷が入るおそれのある工具は使用しない 樹脂管に傷が入ると、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	**AHS継手を分解し、再利用しない** 水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

必ず実行	**樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する 傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す** 水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	樹脂管はパイプカッターを用いて、切断面が管軸に直角になるように切断する 斜めに切断するとAHS継手のOリングがシール不良となり、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	インコアは必ず根元まで樹脂管に挿入する インコアと樹脂管の切断端面が2mmを超える場合は、樹脂管を直角に切断し直す インコア装着不良は、AHS継手のOリングがシール不良となり水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	AHS継手は樹脂管のシール位置まで差し込む 差し込み不足の場合、樹脂管が抜けて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	AHS継手接続要領に従い、樹脂管が継手に確実に接続されていることを確認する 不完全接続の場合、樹脂管が抜けて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

1-2

⚠ 注　意

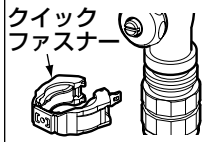
必ず実行

止水栓とAHS継手は、すき間ができないように確実に押し込む

押し込みが不完全な場合、クイックファスナーが正しく装着できず外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

クイックファスナーは必ず同梱品を取り付ける

市販品や類似品のクイックファスナーを取り付けると、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



クイックファスナーは正しく取り付け、目視で確認する

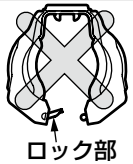
取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

クイックファスナーカバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されているかどうかを確認する

取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

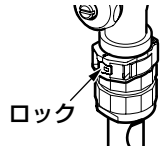
クイックファスナーは、ロック部がカバーの内側に入らないように取り付ける

ロック部が内側に入ると取り付けが不完全となり、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



クイックファスナーのロックを確実にかけて、カバーが開かないことを確認する

取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



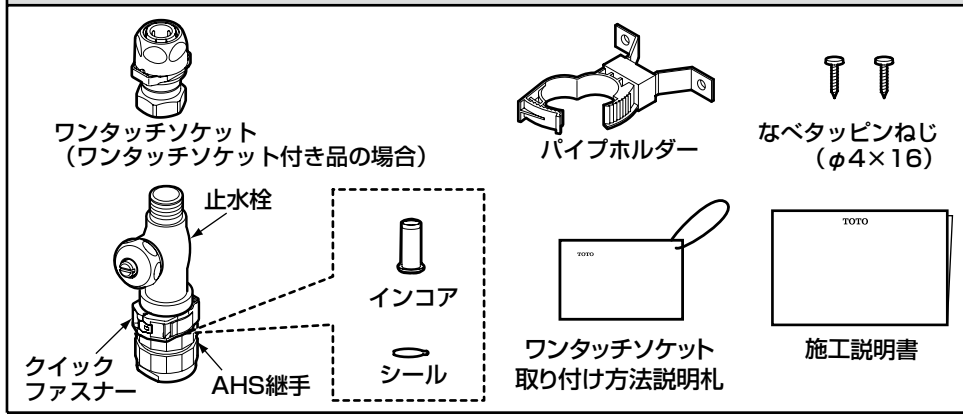
クイックファスナーを外すときは、クイックファスナーに手をそえて外す

手をそえずに押し外すと、クイックファスナーが勢いよく外れてけがをするおそれがあります。

2 部品の確認

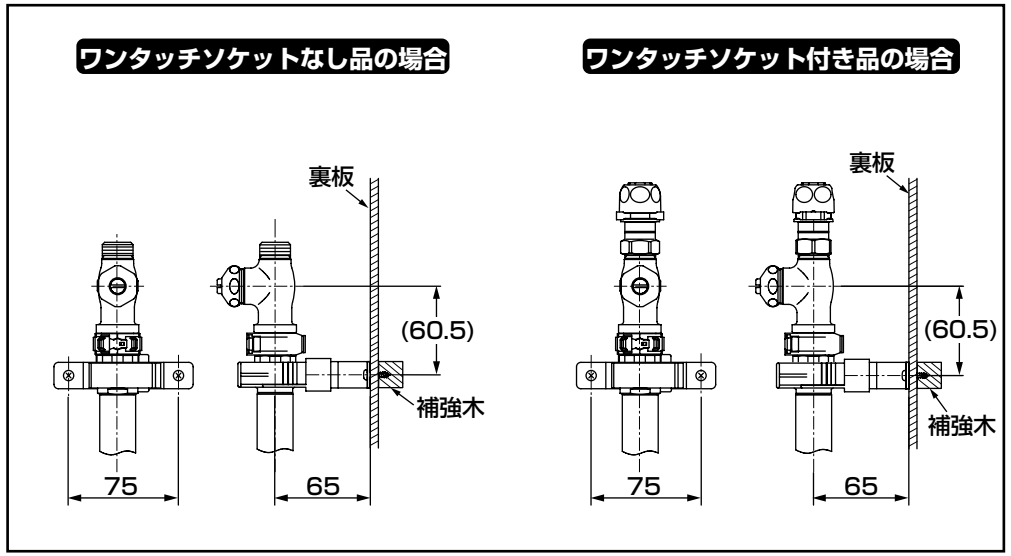
次の部品があることを確認してください。

同 梱 部 品



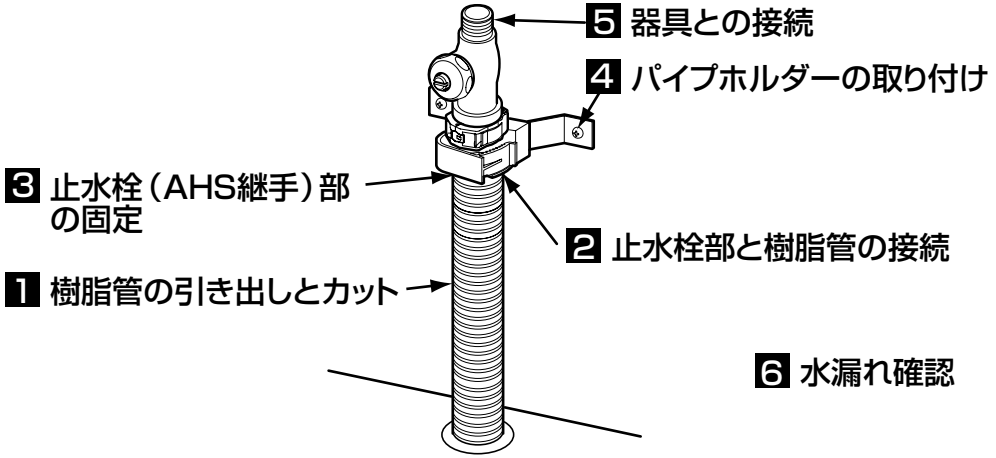
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3 完成図



4-1 施工手順

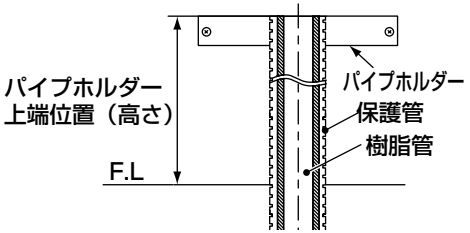
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



1 樹脂管の引き出しとカット

①床下より樹脂管(保護管付き)を引き出す。

②パイプホルダーの取付位置(完成図参考)を決め、樹脂管をパイプホルダー上端（樹脂管切断位置)でパイプカッターを用いて管軸に直角にカットする。



⚠ 注　意

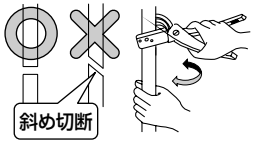
必ず実行

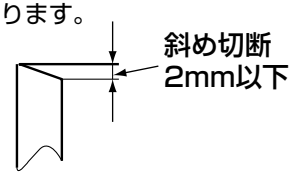
●樹脂管を引き出すときは樹脂管に傷が入らないように行う

樹脂管に傷が入ると水漏れの原因になります。

●パイプカッターを用いて切断面が管軸に直角になるよう切断する

斜めに切断するとAHS継手のOリングがシール不良となり、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。





10mm保温材付きの場合

樹脂管が10mm保温材付きの場合は、施工状況に応じて保温材をカットするなどして、適宜現場にて調整してください。

⚠ 注　意

禁　止

保護管および保温材をカットする際は、カッターなどで樹脂管に傷を入れない
カッターなど樹脂管に傷が入るおそれのある工具は使用しない

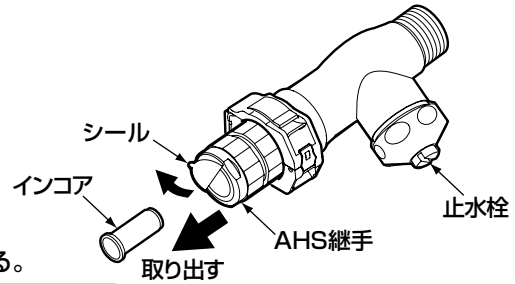
樹脂管に傷が入ると水漏れの原因になります。

2-1 止水栓部と樹脂管の接続

①AHS継手よりシールをはがし、インコアを取り出す。

②はがしたシールをインコア端部に合わせ、樹脂管に貼る。
※シールは、保護管を押し下げて、樹脂管に貼ってください。

③インコアを根元まで樹脂管に挿入する。



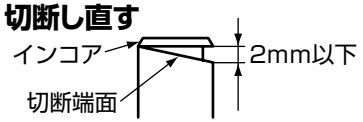
⚠ 注　意

必ず実行

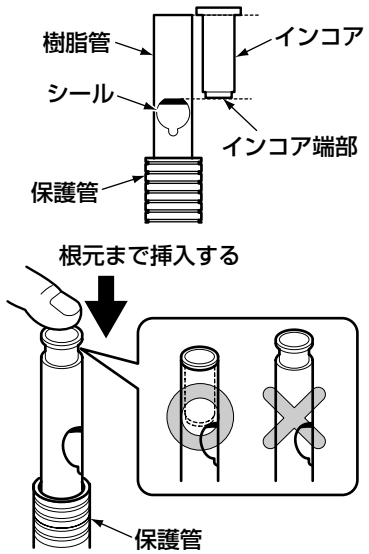
●樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する
傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す

●インコアは必ず根元まで樹脂管に挿入する

●インコアと切断端面が2mmを超える場合は、樹脂管を直角に切断し直す



傷や汚れ、斜め切断は、AHS継手のOリングがシール不良となり、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

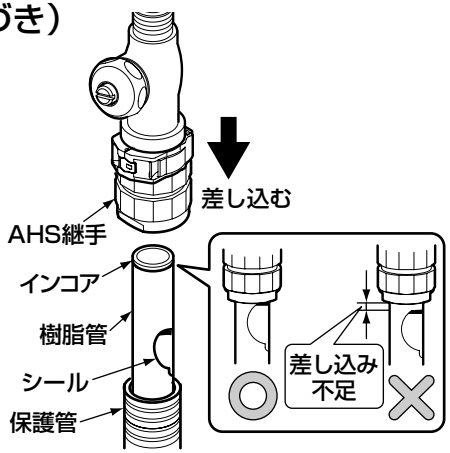


2-2 止水栓部と樹脂管の接続（つづき）

④保護管を押し下げて、樹脂管にAHS継手を差し込む。

⑤AHS継手に樹脂管を差し込んだあと、引っ張って抜けないことを確認する。

⑥AHS継手を少し回転させ、樹脂管となじませる。



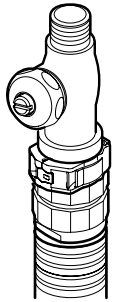
⚠ 注　意

必ず実行

AHS継手はシール位置まで差し込む
差し込み不足の場合、樹脂管が抜けて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注 意

シールは樹脂管からはがさないでください。
検査時のシールによる確認ができなくなります。



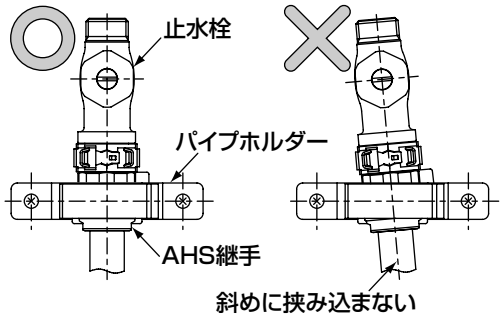
取付状態図

3 止水栓（AHS継手）部の固定

AHS継手をパイプホルダーで挟み込み、確実に固定する。

注 意

パイプホルダーに対して止水栓が斜めにならないように、AHS継手を挟み込んでください。
挟み込みがゆるかったり、斜めになっていると、ガタツキの原因になります。



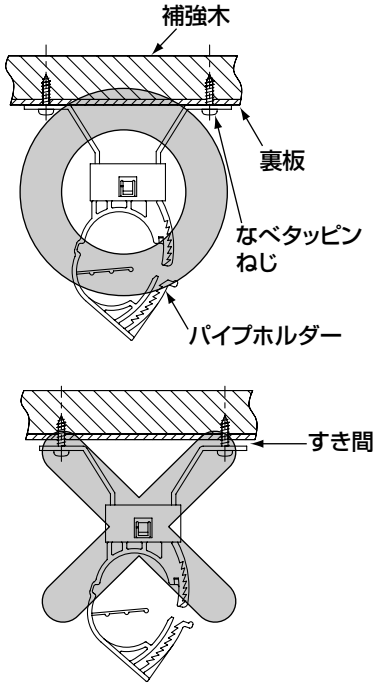
4 パイプホルダーの取り付け

パイプホルダーを裏板との間にすき間ができないように、ドライバーを使って2本のなべタッピンねじで均一に取り付ける。

※電動ドライバーを使用する場合は、裏板や補強木が割れる場合がありますので注意してください。

注 意

なべタッピンねじの締め付けは、確実に行ってください。
ガタツキの原因になります。



裏面へつづく

4-3 施工手順

5 器具との接続

ワンタッチソケットなし品の場合

①器具側のG1/2袋ナットにパッキンを入れ、止水栓にねじ込む。

②手締めにてねじ込んだ後、さらにモンキースパナなどで約1/4回転程度、増し締めする。

⚠ 注　意

必ず実行

●必ず同梱のパッキンを入れる

●必ず工具を使ってねじ込む

ゆるんで水漏れの原因になります。

ワンタッチソケット付き品の場合

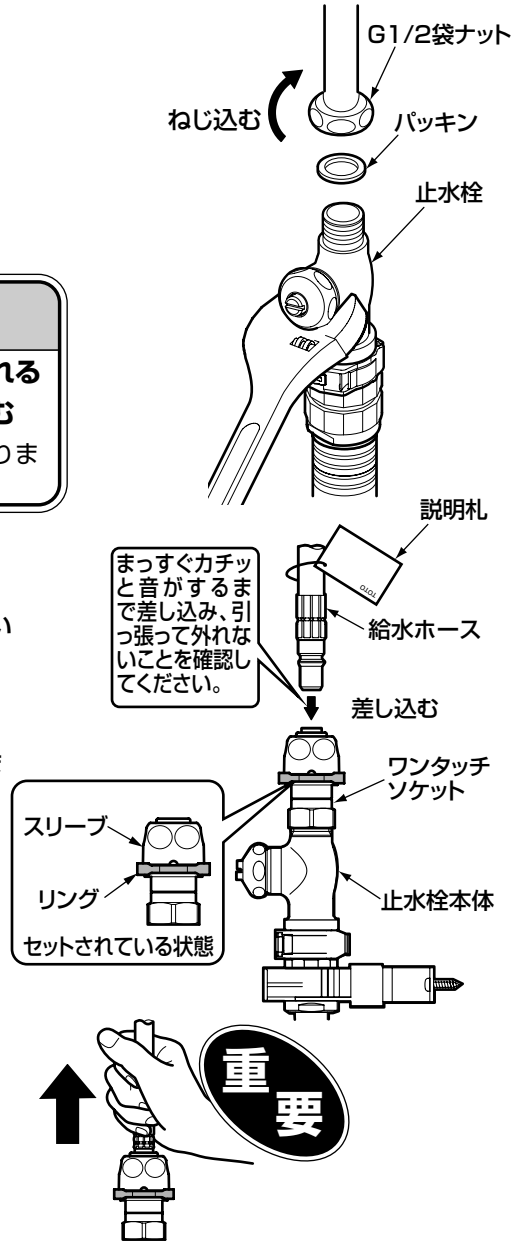
①リングがスリーブの下にセットされていることを確認する。

② 給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）確実に差し込む。

確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付方法」の説明札を必ずホースに通してください。
※ホースを外す場合は、この説明札を参照してください。

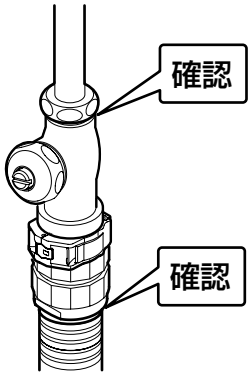
③ホースをまっすぐ引っ張って外れない（抜けない）ことを必ず確認する。



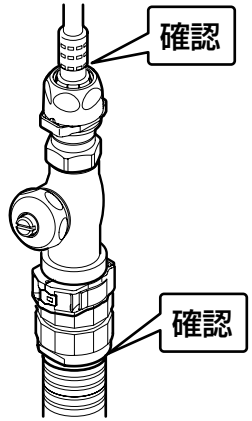
6 水漏れ確認

器具取り付け後、耐圧検査を行い、接続部からの水漏れがないことを確認する。

ワンタッチソケットなし品の場合



ワンタッチソケット付き品の場合



5 メンテナンス方法

AHS継手のインコアを入れ忘れた場合やAHS継手を取り替える場合は次の要領で接続し直してください。

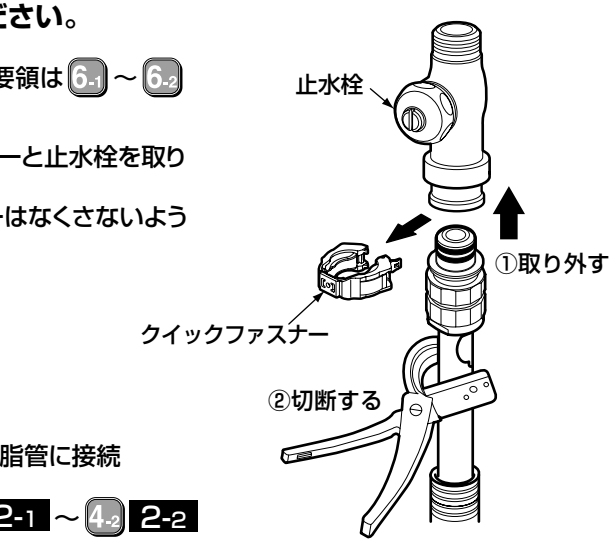
※クイックファスナーの取付取外要領は 6-1 ～ 6-2 を参照してください。

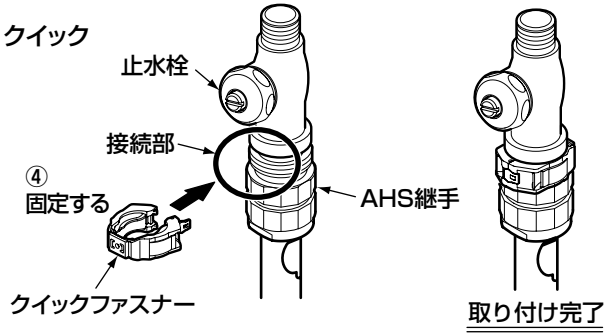
①AHS継手からクイックファスナーと止水栓を取り外す。
※取り外したクイックファスナーはなくさないように注意してください。

②樹脂管を切断する。

③新しいAHS継手（別売品）を樹脂管に接続し直す。
接続要領は 4-1 施工手順の 2-1 ～ 4-2 2-2 を参照してください。

④AHS継手に止水栓を取り付け、クイックファスナーで固定する。

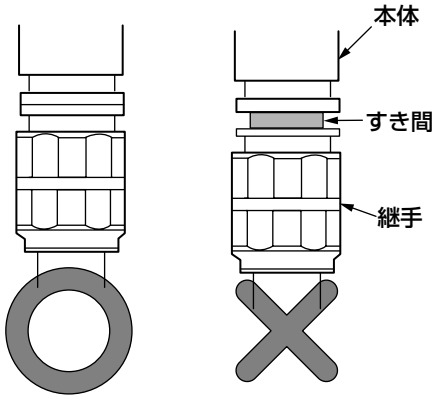




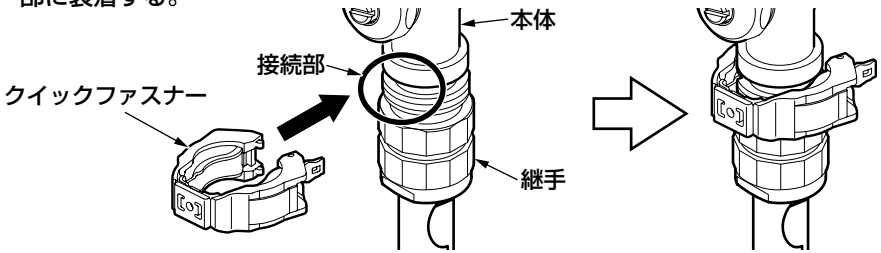
6-1 クイックファスナー取付手順

1-1 取り付け

①継手と本体は、すき間ができないように確実に押し込む。

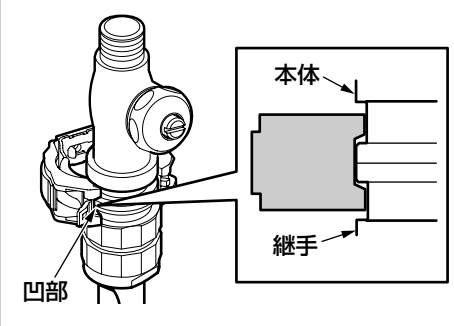


②クイックファスナーを本体と継手の接続部に装着する。

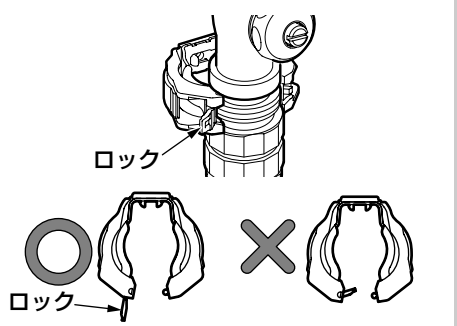


注 意

本体と継手の接続部にカバー先端の凹部を合わせ、真っすぐに差し込んでください。

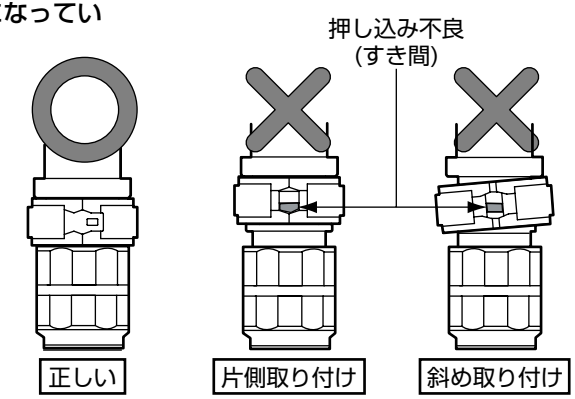


ロックは、装着時にカバーの内側に入らないようにしてください。誤装着の原因になります。

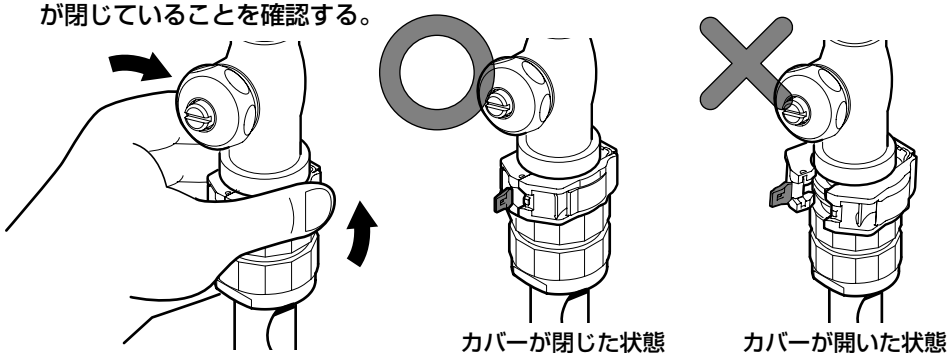


1-2 取り付け(つづき)

③片側取り付けや斜め取り付けになっていないことを確認する。



④カバーの左右を指で押さえて閉じ、ロック部が見えるように手前に回し、カバーが閉じていることを確認する。



⚠ 注　意

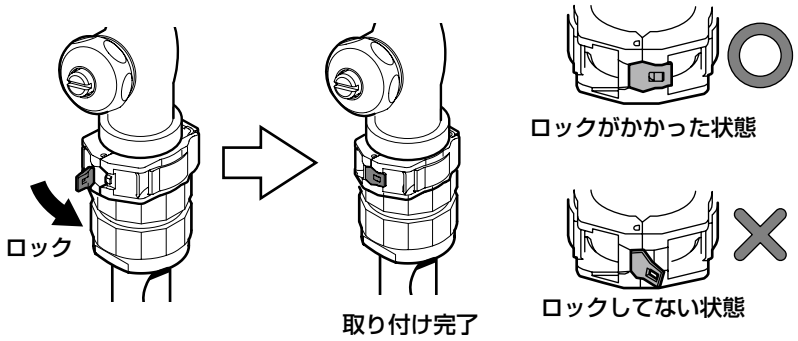
必ず実行

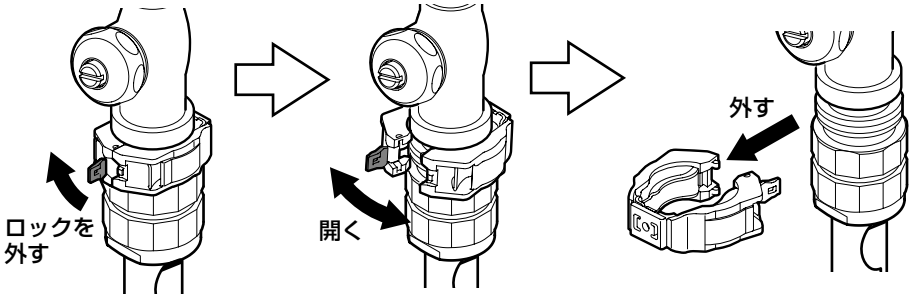
●カバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されているかどうか確認する

●クイックファスナーは正しく取り付け、目視で確認する

取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⑤ロックを確実にかけ、カバーが開かないことを確認する。



取り外し方

①ロック部を引き上げて外す。 ②カバーを左右に開く。 ③取り外す。